

チャールズ・ディケンズ年譜

- 1812 2月7日、ポーツマスにて海軍経理局勤務のジョン・ディケンズとエリザベスの間に生まれる。
- 1815 ジョンの転勤で一家はロンドンに移る。
- 1817 再度の転勤。ケント州チャタムに移る。
- 1822 再びロンドンに移る。
- 1824 ウォレンの靴墨工場で（およそ1年間）働く。ジョンは負債のためマーシャルシー監獄に3ヶ月収監される。
- 1825 ウェリントン・ハウス・アカデミー校にて学ぶ。
- 1827 弁護士事務所です務員として働き始める。
- 1828 民法博士会館（ドクターズ・コモンズ）の裁判所に入出入りする速記者に。
- 1831 マライア・ビードネルとの恋愛。国会の議事を報道する速記者に。
- 1833 最初の作品“Dinner at Poplar Walk”が雑誌に掲載される。
- 1836 *Sketches by Boz* 出版。*Pickwick Papers* 連載開始。キャサリン・ホガースと結婚。*Bentley's Miscellany* 誌の編集者に。
- 1837 *Oliver Twist* 連載開始。
- 1838 *Nicholas Nickleby* 連載開始。
- 1840 週刊誌 *Master Humphrey's Clock* 創刊。同誌に *The Old Curiosity Shop* 連載開始。
- 1841 *Barnaby Rudge* 連載開始。
- 1842 アメリカ旅行 (1月～6月)。 *American Notes* 出版。
- 1843 *Martin Chuzzlewit* 連載開始。 *A Christmas Carol* 出版。
- 1844 *The Chimes* 出版。
- 1845 *The Cricket and the Hearth* 出版。
- 1846 *Dombey and Son* 連載開始。 *The Battle of Life* 出版。
- 1848 *The Haunted Man* 出版。
- 1849 *David Copperfield* 連載開始。
- 1850 週刊誌 *Household Words* 創刊。
- 1852 *Bleak House* 連載開始。
- 1854 *Hard Times* 連載開始。
- 1855 *Little Dorrit* 連載開始。
- 1857 女優エレン・ターナンとの出会い。
- 1858 有料公開朗読会の開始。妻キャサリンと別居。
- 1859 新しい週刊誌 *All the Year Round* 創刊。 *A Tale of Two Cities* 連載開始。
- 1860 *Great Expectations* 連載開始。
- 1864 *Our Mutual Friend* 連載開始。
- 1867 アメリカ朗読旅行出発 (11月9日リヴァプール発)。
- 1868 アメリカ朗読旅行終了 (4月22日ニューヨーク発)。
- 1870 公開朗読旅行の終了。 *The Mystery of Edwin Drood* 連載開始。6月9日、作品の完成を見ずに死亡。

マーク・トウェイン年譜

- 1835 11月30日、アメリカ西部ミズーリ州*の開拓村に、ジョン・M・クレメンズとジェインの第6子として生まれる。本名 Samuel Langhorne Clemens。
*ミズーリ州＝南部と北部の境界に位置し、奴隷制度を容認。
- 1839 一家は、ミシシッピ川西岸の町ハンニバルへ移住。
- 1847 父の死去により学校を辞め、(新聞を発行する)印刷所徒弟となる。
- 1853 ハンニバルを出奔し、アメリカ東部大都会で渡りの印刷職人として働く。
- 1857 ミシシッピ川蒸気船で見習いになり、2年後に水先案内人。
- 1861 南北戦争の勃発により水先案内人失職。南軍義勇兵として参戦(2週間)の後、兄に随行し、西部ネヴァダ準州へ。
- 1862 銀鉱山の探鉱後、ヴァージニア・シティ *Territorial Enterprise* 紙の記者に。署名記事に Mark Twain の筆名(水深二尋の意、1863年2月)。
- 1865 デビュー作“Jim Smiley and His Jumping Frog”がニューヨーク *Saturday Press* 紙に掲載、ひろく転載され、評判。
- 1866 サクラメント *Union* 紙特派員としてサンドイッチ諸島(＝ハワイ諸島)へ。その通信記事25編や講演活動で好評を得る。
- 1867 1月、ニューヨーク着。6-11月、蒸気船クエイカー・シティ号によるヨーロッパと聖地周遊旅行、サンフランシスコ *Alta California* 紙に通信記事50編。12月、**ニューヨークでディケンズ朗読会を聴き、その印象を執筆**(*Alta California* 紙、1868年2月5日掲載)。
- 1869 東部の資産家令嬢オリヴィア・ラングドンと婚約。旅行記 *The Innocents Abroad* 出版、大好評(3年間で10万部の売上げ)。
- 1870 オリヴィアと結婚。
- 1872 旅行記 *Roughing It* が大評判、名声の確立。秋、(イギリスにおける)自作の著作権擁護のためロンドンを初訪問。
- 1873 C.D. Warner と共著 *The Gilded Age* (＝初めての小説) 出版。
- 1874 ハートフォードのヌック・ファームに大邸宅を建設。11月、“A True Story”を東部文壇芸誌 *Atlantic Monthly* に投稿し、初採用。
- 1875 *Atlantic Monthly* 誌に“Old Times on the Mississippi”連載。
- 1876 *The Adventures of Tom Sawyer* 出版、「国民作家」と呼びうる作家へ。
- 1881 *The Prince and the Pauper* 出版。ミシシッピ川を再訪。
- 1883 **旅行記 *Life on the Mississippi* 出版、第38章にディケンズ評を記す。**
- 1885 *Adventures of Huckleberry Finn* 出版(Charles L. Webster 社より)。
- 1886 アメリカ議会上院特許委員会国際著作権問題公聴会で保護条項に賛同証言。
- 1887 *The American Claimant* 出版。
- 1889 *A Connecticut Yankee in King Arthur's Court* 出版。
- 1894 4月、トウェインが破産宣告。*Pudd'nhead Wilson* 出版。
- 1895 借財返済目的の世界一周講演旅行に出る。
- 1896 *Personal Recollections of Joan of Arc* 出版。8月、娘スージー死去。
- 1897 旅行記 *Following the Equator* 出版。借財を返済(完済＝1898年2月)。
- 1899 “The Man That Corrupted Hadleyburg”雑誌掲載。
- 1900 10月、ヨーロッパより帰国、反帝国主義宣言。ニューヨークに住む。
- 1901 1月、反帝国主義者連盟副会長就任。“To the Person Sitting in Darkness”出版。イエール大学より名誉博士号授与。
- 1904 6月、療養中のフィレンツェにて妻オリヴィア死去、58歳。
- 1905 *King Leopold's Soliloquy* 出版。12月、70歳の誕生日祝賀会開催。
- 1906 1月、口述による自伝執筆本格化。*Eve's Diary* 出版。*What Is Man?*匿名出版。12月、アメリカ議会合同委員会著作権問題で証言。
- 1907 *Christian Science* 出版。オックスフォード大学より名誉文学博士号授与。
- 1909 *Is Shakespeare Dead?*出版。*Captain Stormfield's Visit to Heaven* 出版。12月、娘ジーン死去。
- 1910 2月、“The Turning Point of My Life”雑誌掲載。4月、バミューダから帰還、同21日、レディングの自宅で永眠。74歳。